

文京区版 幼児教育・保育カリキュラム



男女協働子育て支援部・教育推進部

基本方針



これまでも幼稚園は幼稚園教育要領に、保育園は保育所保育指針に基づいた幼児教育・保育を展開してきた。また、平成20年3月の大幅な改定により、3歳児から5歳児の教育に関する内容では整合性が図られている。しかし、統一されたカリキュラムがないことで、幼稚園と保育園の内容に違いがあるかのように伝わっているのが現状である。

そこで新たに、文京区内の区立幼稚園、区立保育園では3歳児から5歳児まで、等しく質の高い教育・保育が受けられることを目標とした統一カリキュラム『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』を定めることとする。



基本的な考え方



文京区は歴史と文化と緑に生まれ、文学・教育が息づく“文の京”として、歴史を今に未来につなげ、地域が一体となり、子どもを育む支援を実施している。一人一人が自分らしく輝くことで“文の京”の魅力をさらに高め、すべての区民が“住んでよかった”“これからも住み続けたい”と実感するまちづくりを目指している。さらに、明治9年に日本で始めて開園し、倉橋惣三により保育が確立された東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）附属幼稚園や明治20年に開園した文京区立第一幼稚園などや伝統ある大学、多くの学校のある「文教の地」としても知られている。

近年、家庭や地域において、子どもが兄弟姉妹や近隣の子どもとのかかわる機会や、心と体を動かして夢中で遊びこむ機会が減少しているとの指摘がある。このことを踏まえると、幼稚園・保育園において、同年齢や異年齢の子ども同士が互いにかかわり合い、生活することの意義は大きい。子どもは遊びを通して思考力や想像力を養い、遊びこむことによって達成感や満足感を味わい、疑問や葛藤を経験し、自発的に周りの環境にかかわる意欲や態度が育っていくのである。

このカリキュラムは、東京都が平成25年に発行した就学前教育カリキュラムを基に、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す領域を踏まえ、生きる力の基礎（学びの芽生え・人のかかわり・生活する力）の育成に向け、その目標を適切かつ具体的に達成するための事項を経験させたい内容としてまとめた。

なお、リーフレットの内容は、各年齢の年度末のカリキュラムの抜粋である。

3歳児

発達の特徴

- ・ 基本的な生活（食事、排泄、衣服の着脱など）がほぼ自分で出来るようになる。
- ・ 話し言葉が豊かになり、会話を楽しむようになる。
- ・ 自分の思いを主張しながらも、友達と同じ場所で遊んだり、簡単な集団での遊びを楽しんだりするようになる。
- ・ 自分を中心に考える時期である。
- ・ 基本的な運動機能が発達する。



ねらい

- ・ 自分の思いを出して、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・ 保育者やクラスの友達と一緒に動く楽しさを感じ、リズム遊びや表現遊びを楽しむ。
- ・ みんなで気持ち良く過ごすために園生活に必要なことが分かり、自分から行おうとする。

経験させたい内容

学 び の 芽 生 え

- ・ 遊びを通して興味・関心を広げ、楽しかったことを取り入れて遊ぶ。
- ・ 思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。
- ・ 出会ったものや周囲の出来事などからイメージを持ち、自分なりの表現を楽しむ。



人 と の か か わ り の 力



- ・ 相手の動きや保育者の話などから、相手にも思いがあることに気付く。
- ・ 友達と声や動きを合わせみる。
- ・ 友達と同じ場で遊ぶ中で、思っていることやしたいことなどを言葉や動きで表す。
- ・ みんなで気持ち良く、安全に過ごすための簡単な決まりが分かり、守ろうとする。

生 活 す る 力

- ・ 冬の生活の仕方を知り、自分からやってみようとする。
- ・ 身の回りの物の整理や遊びの片付けなど、自分のことを自分でしようとする。
- ・ 楽しく食事をしたり、一定時間の睡眠を取ったりする。*
- ・ 簡単な集団遊びのルールが分かり、みんなと一緒に動くことを楽しむ。
- ・ 遊具や用具を安全に使おうとする。



* 幼稚園では、基本的に睡眠を取っていません。

4 歳児

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発達の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の環境に強い関心を持ち、身近な自然物、物事、事象と触れ合う中で、友達と発見、工夫し遊びを広げる。 ・言葉による表現が進み、友達に自分のイメージを伝え、一緒に遊びを楽しんでいく。 ・友達とかかわり、遊ぶことの楽しさが分かり、相手の思いや自分の感情に気付いていく。 ・決まりや危険なことが分かり、約束を守って行動していく。 ・運動のバランス、コントロールが取れるようになり、ボール投げなど二つの運動をつなげて行う協応動作も上手に行えるようになる。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで遊びに必要な場やものを作って遊ぶことを楽しむ。 ・クラスの友達と一緒にいろいろな活動をする中で、つながりを感じて遊びや生活を進める。 ・基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの決まりを守り、進級することへの期待や自信を持つ。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学びの芽生える力</p>	<p style="text-align: center;">経験させたい内容</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要なものや場を作り、友達と一緒に遊ぶ。 ・場面に合わせていろいろな言葉を使う。 ・友達と言葉で伝え合う楽しさを感じる。 ・絵本や紙芝居、お話などを喜んで聞き、ストーリーの展開を楽しみにする。 ・いろいろな遊びの中で記号や文字、形、数字などに興味を持つ。 </div> </div>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人のかかわり</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基礎生活する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の大まかな見通しを持ち、自分で出来ることは自分でしようとする。 ・必要に応じて自分で衣服の調整をする。 ・自分の健康に関心を持ち、いろいろな食材を食べようとする。 ・食事のマナーに関心を持ち、気を付けて食事をする。 ・落ち着いた環境の中で、一定時間、休息を取る。 ・自分なりのめあてを持って運動遊び（フープ、縄跳び、固定遊具など）に取り組み、積極的に体を動かして遊ぶ。



5 歳児

<p>発達の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに判断する力が生まれ、自分と違う思いや考えを認め、社会生活に必要な力を身に付け、行動出来るようになる。 ・生活や遊びに見通しを持ち、友達と相談し、共通の目的や課題に向かって取り組むようになる。 ・時間を意識した生活に見通しを持ち、就学に向けて期待を高めていくようになる。 ・全身運動が滑らかで巧みになる。 ・運動機能はますます伸び、細かい指先の動きが滑らかになり、道具の扱いや操作が出来るようになる。
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し挑戦して取り組む中で、目的や課題を達成し、意欲を持つ。 ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで自信を持って園生活を進めていく。 ・小学校の体験・交流を通して、就学への期待を持つ。 
<p>生き生きする力</p>	<p style="text-align: center;">経験させたい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスや年齢なりの課題に向かって自分の力を発揮し、これまでの経験を生かして取り組む。 ・友達と協力したり、役割を分担して取り組み、互いの良さや成長を認め合う。 ・遊びや生活の中で、相手に分かるように、話し方や言葉を考え、伝えようとする。 ・困ったことがあれば自分から尋ねたり、集中して人の話を聞こうとする。 ・日常生活に必要な数量、形、文字、標識などに興味・関心を持ち、遊びや生活の中で使っていく。 ・クラスや学年の友達と全員で気持ちを合わせて歌ったり、演奏したりする。 
<p>力の基</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや考えたことを友達に分かるように伝え、友達の話も聞いて受け止めていく。 ・友達の心情に気付き、互いを生かし合って遊ぼうとする。 ・繰り返し挑戦し、達成したり、様々な人に認められたりすることを通じて自信を持つ。 ・見通しを持って園生活を進める。 ・園生活を振り返り、自分に多くの人がかかわってくれたことを知り、感謝の気持ちを持つ。
<p>基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を意識しながら生活に見通しを持ち、今、何をすべきか、自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする。 ・身の回りの整理や片付けの必要性が分かり、協力して進んで行く。 ・自分の決めた目標に向かって繰り返し挑戦する。 ・安全な遊び方や場所が分かり、自分で判断して安全に行動しようとする。 ・1日の生活や就学までの見通しが分かり、自信を持って取り組むことが出来るようになる ・卒園に向けた活動の中で、園生活が終わることを感じたり、小学校生活への意識を高めたり、期待を持ったりする。 

Q & A

区立の幼稚園や保育園では幼児にどんな力を育てていますか？

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。そこで下記のような力を育てていきます。

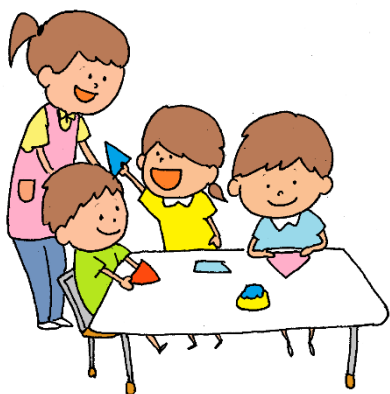
- ・健康な心と体を育てます。
- ・人とかかわる力や思いやる心を育てます。
- ・興味を持って取り組む力、頑張る力を育てます。
- ・聞く力、話す力を育てます。
- ・伸び伸びと表現する力を育てます。



Q & A

なぜ遊びを大切にしているのですか？

遊びは、幼児が自らの興味や関心を持って取り組む自発的・主体的な活動です。その中で好奇心・探究心が育まれ、友達と協力する大切さなどを学び、集中して取り組む力が育ちます。幼児期に夢中になって遊んだ体験が小学校以降の「学習の基盤」となります。



Q & A

小学校就学に向け、どのような教育をしていますか？

幼児期に大切な学びのスタイルは特定の活動を取り出して教えることより、興味・関心に沿って幼児自身が学びとることが重要と考えます。様々な活動の中には小学校の学習につながる内容は十分含まれています。「知りたい」気持ちを育み、小学校への憧れを持つよう連携を進めています。

